

なす後継者が養液栽培を学ぶ

—第2回柳川なす養液栽培勉強会を開催—

活 動 情 報

第 1 号 平成31年4月

野菜課野菜第一係

TEL 0944-62-4191

FAX 0944-63-4643

e-mail:nanchiku-dlc@pref.fukuoka.lg.jp

JA 柳川なす部会では、栽培面積2ha、栽培農家8戸で養液栽培が行われています。養液栽培は、かん水と施肥を自動で管理できるため省力的で、通路が広く作業しやすいハウス環境です。

現在は、親が養液栽培、後継者が土耕栽培と分担している場合が多く、後継者は養液栽培の経験が浅いため、経営を引き継ぐ場合、栽培技術の習得が課題となります。そこで、普及指導センターでは、後継者5戸を対象に、養液栽培勉強会を開催しました。

昨年12月に第1回勉強会を開催し、普及指導センターが養液栽培の基礎知識について講義を行いました。また、4月8日に第2回勉強会を開催し、全員で栽培ハウスを巡回することで、各生産者の栽培管理や改善点について有意義な情報交換ができました。さらに、養液栽培装置のメーカーである株式会社誠和から、機械操作方法や養液管理について説明を受けました。参加者からは多くの質問が出て、「実践的な内容を学べてよかった」という声がありました。

今後も普及指導センターは、産地の将来を担うなす後継者の栽培技術の向上を支援していきます。



真剣に機械操作方法を聞く後継者



炭酸ガス局所施用の養液栽培ハウス